

利用者に愛され地域に溶け込んだ「新しい農業普及所」を創ります。

農業従事人口が減り続けている現在、農業従事者への情報の提供や相談業務、地域に対しては農業の素晴らしさを伝える役目である「農業普及所」の重要性は非常に大きいものです。今回この業務に臨むにあたり、農業普及所としてクローズする部分は確実にクローズし、次世代の農業普及所としてオープンにする部分は大胆にオープンするというメリハリのある施設の提案を行いました。建設地は住宅地にあり、東西に細長いという特徴のある建設地に地域に溶け込み、農業従事者の方々に愛され利用され続ける魅力のある施設の実現を目指します。



敷地西部 敷地中央側 敷地東部



(2) 次世代の農業普及所としての施設機能の実効性確保に関する提案

●土地利用計画の方針
建設地は東西に長く、特異な形状の為に効率的に配置することが重要です。敷地を特徴毎に3つに分け、効率的な土地利用を目指します。

敷地西部においては職員用駐車場として20台程度確保します。

敷地中央部は最も奥行きが確保できるので施設配置及び一般用駐車場とします。

敷地東部は車の出入りの安全に配慮して公用車車庫及び職員駐車スペースとします。

●配置計画の方針
事務棟は事務機能を充足させるためシンプルな矩形とし、南北方向に配置します。中廊下型の効率の良い平面計画を行います。また西側職員用駐車場との連絡も考慮します。

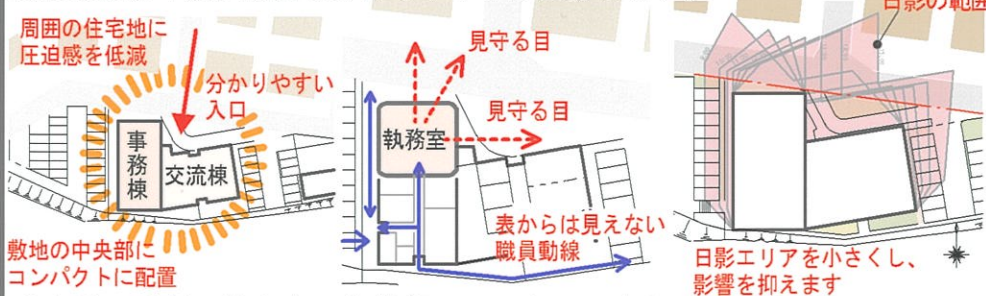
交流棟は敷地東側に配置。効率良く敷地形状に合わせて北側に振れた形で事務棟と接続します。また一般用駐車場もアクセスを容易にするため交流棟東側に配置します。



(1) 周辺地域と共生する施設の在り方に関する提案

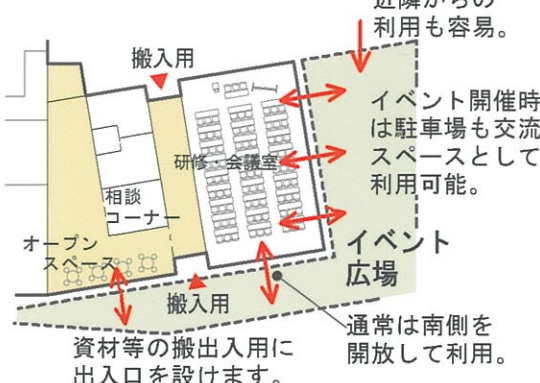
●住宅地内にある公共施設としての在り方

建設地周辺は住宅地であり、その中に建設する公共施設として理想的な姿を検討します。日影の影響を極力抑え、出来るだけ周囲への圧迫感を無くしながら公共施設として周囲を見守る目を持った施設を目指します。新施設は敷地中央部に2つの勾配屋根を持つ馴染みのある施設とし、周囲への圧迫感を低減します。また執務室を北側に配置することで来訪者の確認や不審者の早期発見を容易にします。入口は施設中央に配置し分かりやすさを重視します。



●内部、外部一体となった情報ステーションとしての在り方

交流棟は地域の方々や相談者等が気軽に利用できる開放的な空間とします。南からの採光を十分に確保し明るい環境の中でプライバシーを確保した相談コーナーを配置します。(通常は閲覧コーナーとしても利用可能) 会議・研修室は20~80人での利用が可能であり、イベント等開催時は南側テラスや一般駐車場との一体的な利用も可能です。



(2) 次世代の農業普及所としての施設機能の実効性確保に関する提案

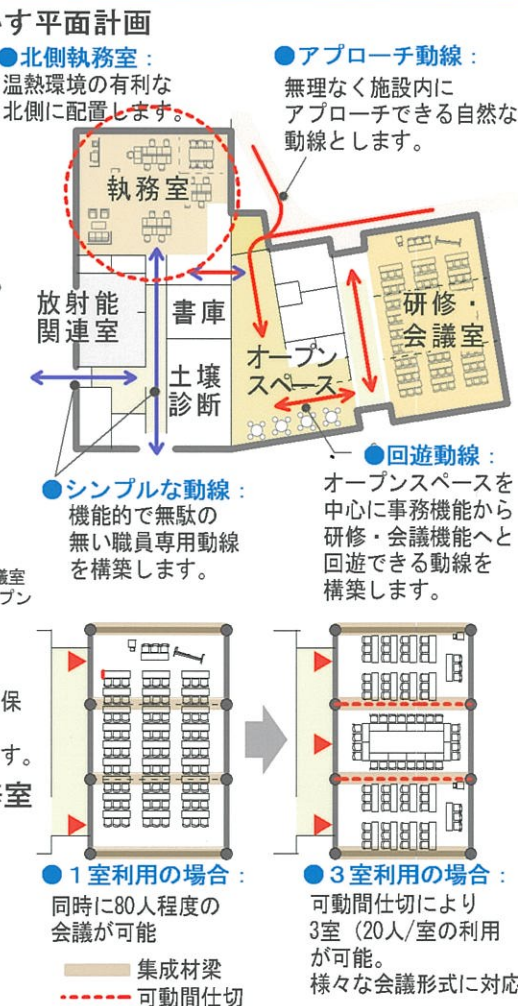
●各室の機能・特徴を最大限生かす平面計画

施設内部においては、事務棟、交流棟それぞれの機能を充足するプランニングを行います。事務棟においては、職員の日常業務を優先させた計画を行います。クローズする部屋は外部からの立ち入りが防げるような配置とし、職員動線は出来るだけシンプルとします。執務室は夏の日差しを避けて北側に配置します。

交流棟においては、地域の住民の方々や農業従事者が気軽に訪れられることを優先した計画を行います。事務棟と会議・研修室の間をオープンスペースとし、回遊動線を形成することで情報と交流の場とします。

●オープンスペースの考え方
コンパクトに計画し廊下の部分を減らす事で確保します。オープンとクローズ域の間に配置し、適度な区分と様々な交流が生まれる場所とします。

●可変性を持つ柔軟な会議・研修室
交流棟の中心機能である会議・研修室は様々な利用に対応できる設えとします。可動間仕切りを用いることで1室から3室に分割しての利用を可能とします。



(3) その他、本施設の計画において特に重要と考える提案

●機能とコストを考慮した構造システム

空間の特徴毎に機能とコストを両立させた構造とします。大空間には集成材を用い、その他は県産材による在来木造とします。特に事務棟は今後の機構変更にも対応が容易な無柱とします。集成材によるトラス工法

●入りたくなる施設を創ります。

馴染みの無い農業普及所には来訪者を迎えるかは重要です。気軽に入りやすくするため、分かりやすい入口や職員の活動の様子を確認出来ることで、より親近感を感じさせます。

●最小限の建築・設備により「Nearly-ZEB」の認証を目指します。
弊社ZEBプランナーが計画段階から業務に従事。直近の実績を生かしてZEB認証取得に向けて手戻りがないよう取り組みます。方針としては大掛かりな建築・設備ではなく、コンパクトに無駄を無くしシンプルな仕様で認証取得を目指します。

